



## FUKUOKA NEWS

「チーム福岡」福岡県選手団サポートニュース

9月17日(月) Vol.5

### いよいよ大詰め！会期前競技



#### 石原愛依選手 連日の第2位！

競泳第2日目の16日。

昨日少年女子A200m平泳ぎで2位に入った石原愛依選手(柳川高校)が、好調をキープし、少年女子A400m個人メドレーで決勝に出場。2位入賞と活躍し、本県応援団からも大歓声が沸き上がった。

石原選手は、「200m平泳ぎでは、2位になれると思っていたので、すごく嬉しかった。ジュニアエリートA(中高生でジュニアエリートA記録以上を突破した選手)の記録を0.2秒切れなかったのもそれは悔しい」と、喜びと課題を口にした。

また、少年男子B100m背泳ぎでは、小鶴皓大選手(東福岡高校)が3位入賞。少年男子A100m自由形では、中杉勇斗選手(常磐高校)が4位入賞、少年男子Bの4×100mメドレーリレー(小鶴皓大・後藤旭登・伊東翼・小山陽翔)が4位入賞と、昨日からの好調を維持している。

この2日間での本県競泳チームの競技得点は48点となり、すでに昨年を大きく上回った。どこまで得点を伸ばせるか、明日の最終日が楽しみである。



【好調キープの石原選手】



#### 競技別総合成績 現在2位 上位入賞に期待

クレー射撃競技は、16日に第3ラウンドが終了。現時点での順位は、スキート競技が6位タイ(183ポイント)、トラップ競技は順位を落とし7位(187ポイント)となり、いよいよ最終第4ラウンドを迎える。残すところは、1人25発のみ。上位14位までの都道府県が9ポイント差であり、本県チームの底力に期待がかかる場所である。

クレー射撃競技別天皇杯争いにおいては、岡山県(計386ポイント)に16ポイント差に広げられたが、2位をキープ(370ポイント)。しかしながら、3位群馬県、4位岐阜県、5位福井県、6位和歌山県と、僅差でひしめき合っていることから、最後の最後まで予断を許さない戦いが続く。

#### 吉澤有馬選手・次の高飛込に想いを込めて！



【演技前の吉澤選手】

16日、金沢市で行われた水泳競技(飛込)において、吉澤有馬選手(福山平成大学1年)が出場した。初めての成年種別出場となった吉澤選手は、本日の飛板飛込では、残念ながら15位という結果であった。

試合後、竹川監督は、「吉澤選手の調子が良すぎて、噛み合っていなかった。普段通りにできれば、(明日は)必ず結果がついてくるはず」と語った。

吉澤選手は「明日は入賞を目指す」と笑顔で答えるも、これまでの試合を振り返り、すでに試合のイメージをつくっている様子が伺えた。

明日は昨年の愛媛国体において少年種別で4位に入賞した高飛込に出場する。いつも通りのパフォーマンスにより、昨年以上の笑顔を期待したい。

#### 現地情報

「福岡と比べて、朝晩の寒暖の差が激しく、日によって日中の気温差が激しいので、事前に気象情報を確認して、対策をとることが望ましい。」と会期前競技を終えた監督や選手は語った。25日(火)からスタートする自転車競技選手団にエールを送る姿から、自競技のことだけではなく、TEAM福岡として戦っている姿に触れ、目頭が熱くなった。

国体の情報については、大会ホームページ (<http://fukui2018.pref.fukui.lg.jp/>) より、ご覧ください。

※Facebookにおいても情報発信を行っています。「ふくおかスポネット」で検索してご覧ください。

【発信元】福岡県立スポーツ科学情報センター スポーツ推進課 企画情報係